

授業科目名 (英文名)	Writing 1 英語W 1 (K 1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	寺西雅之	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことができる 2) 基礎的な英文を書くために語彙や文法を習得している 3) 基礎的な英文の文章構成法を理解している		
講義内容・授業計画	メールや手紙などの形式に慣れ、センテンスを正確に書く実践練習を行い、適切な語彙を身につけ、英文を書くスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。 1. Explore the World Beyond the Syllabus 2. The University & Civic Engagement: A Brief History 3. Life Design for Centenarians 4. Can Humans Really Fall in Love with Robot? 5. Looking at Art of Other Cultures 6. What Literary Works Teach Us 7. Advice from the Philosopher Nietzsche: Have a Strong Will to Live Well 8. Three Tools for Learning at University 9. Laugh, and then Think: The Ig Nobel Prize 10. Ecological Thinking 11. Economy, Healthcare and Quality of Life in Two Cities 12. Sports, Culture and Communication 13. Form and Function in Classical Music 14. Business in Asia: Global Companies in Japan 15. まとめと評価		
テキスト	The Intersection of Arts, Humanities and Science: Fifteen Selected Passages for University Students-(成美堂)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことが出来るものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 ミニレポートなどによる平常点40%、レポート60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	理由のある欠席の場合は必ず証明書を提出すること(例: 病欠の場合は、診断書(コピー可)、病院の領収書等)。 新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定 ・連絡します。		

実践的教育	該当しない
備考	本授業には、学生が授業中に英語を用いた活動に取り組むアクティブ・ラーニングが含まれる。